

2023年度

事業計画書

公益財団法人 日産厚生会

当会の2023年度の事業活動計画は以下のとおりである。

## 1. 医学研究の推進

医学研究所の統括の下、各施設がそれぞれの施設特性に応じた臨床医学研究や予防医学研究の活動を実践し、その成果を学会発表や学術論文として外部に発信すると共に、医学フォーラムや院内研修会等を通じて、知識・技術の普遍化を促し、厚生会全体の医療水準の向上を図る。

### ①医学研究所

各施設の研究計画、研究活動を統括すると共に、関係諸学会への参画を継続的に支援する。第10回医学フォーラムを開催し、各施設・各部門の日々の研究成果の発表機会を提供すると共に、全体の研究マインド向上を図る。また、今年度、玉川病院の各センターから研究機能を区分し、医学研究所の傘下に研究部門を創設。玉川病院をはじめ他施設との共同研究や共同発表等への取り組みの具現化を推進し、厚生会全体としてより一層の研究活動実績向上を支援する。

### ②玉川病院

今年度、各センター（透析、気胸、ヘルニア、股関節、リハビリ）の研究部門をより明確化するため、研究部門と診療部門を区分する。新たに設立される各研究部門（腎疾患総合、気胸・嚢胞性肺疾患、ヘルニア疾患、関節疾患、脳機能再建）をはじめ、診療部、医療技術部及び看護部それぞれにおける研究活動への取り組みを推進すると共に、研究成果の啓発・普及を図る。

### ③佐倉厚生園病院・玉川クリニック・診療所他

医学研究所との連携を密にして、各々の施設特性に応じた研究活動を推進する。

- ・回復期・慢性期病棟、介護施設の各部におけるデータ集積と分析による医学研究
- ・リハビリテーションにより得られる各種効果に関する研究
- ・健診データ等の集積と分析による予防医学研究

各施設における具体的な研究・調査の内容については4頁以降の(別表)のとおり。

## 2. 社会への貢献

### (1) 医療活動の質の向上

それぞれの施設状況に応じ、救急医療体制の充実化、総合診療体制の整備、大学病院等高度先進医療機関との連携強化、チーム医療の実践強化等の取組みを進展させ、提供する医療の質の向上に努める。

### (2) 保健予防活動、健康普及啓発活動の推進

各施設において、人間ドック、生活習慣病健診、乳がん検診その他各種検診での検査項目の充実や検査精度の向上による疾病予防や早期発見に努めると共に、各検診の受診率向上を図る。

玉川病院や佐倉厚生園病院で、従来から行っている各種教室（糖尿病教室、腎臓病教室、呼吸リハビリテーション教室等）、病院祭や看護の日といった一般市民向け院内公開行事等やAED講習会、熱中症講習会、市民公開講座等の院外における啓発活動等については、新型コロナウイルス感染予防対策をとり実施する。

また、診療所やクリニックにおいては、産業医としての講演活動等において、生活習慣病予防等をはじめとする、様々な健康普及啓発活動を展開する他、かかりつけ医として親身な医療を実施する。さらに、玉川病院では、東京都の高次脳機能障害支援普及事業「専門的リハビリテーションの充実事業」を受託する他、世田谷区・地域保健所・医師会等の要請に応え、医師、看護師、PT・OT及びST等を、講演会・講習会に講師として派遣し協力する。

### 3. 教育・人材育成の推進

#### (1) 初期臨床研修医・専門医制度の専攻医及び特定看護師の育成、医学部実習生の受入れ

(玉川病院)

- ・ 基幹型臨床研修病院及び協力型臨床研修病院として、初期臨床研修医の育成を行う。
- ・ 新専門医制度における内科領域の基幹病院、連携病院として、専攻医の育成を行う。さらに、他科領域では連携病院として関連病院からの要請により、専攻医を受入れ育成を行う。
- ・ 特定行為に係る看護師研修制度における指定研修機関として、特定看護師の育成を行う。
- ・ 関連大学からの要請により、医学部実習生を受入れ実習指導を行う。

(佐倉厚生園病院)

- ・ 協力型臨床研修施設として、初期臨床研修医の育成を行う。

(診療所・玉川クリニック)

- ・ 初期臨床研修医に対して地域医療研修の実習指導を行う。

#### (2) その他医療・介護関連の実習指導

玉川病院、佐倉厚生園病院、佐倉ホワイエにおいては、医療、看護、リハビリ、臨床検査、栄養、薬剤、メディカル・ソーシャル・ワーカー、介護福祉、医療事務等の学生に対し、実習指導を行うとともに、要請に応じて講師の派遣を行う。

### 4. 医療活動の推進及び設備の充実

#### (1) 当年度の想定患者数、健診者数は、各施設とも新型コロナウイルス対応を講じた中で

3頁(参考)のとおり見込んでいる。

#### (2) 機器・設備の整備等

(玉川病院)

- ① 人事システムを更新し、勤務状況の見える化を図り、職員の働き方改革を推進する。
- ② 南棟3階、東棟4階等の空調設備を交換し、患者環境の向上・充実化と省電力化を図る。
- ③ X線骨密度測定装置などの機器を更新し、診療精度向上及び患者サービスの向上を図る。
- ④ 電子カルテシステムのサーバーを更新する。
- ⑤ 病院建替えに伴う設計等の立案を実施して、全体の構成を策定する。

(佐倉厚生園病院)

- ① 新館外壁等大規模修繕工事及び療養病棟に電動ベッドを一部(45台)導入し、診療ならびに療養環境の向上を図る。
- ② 電子処方箋システムの実装及び健診WEB予約システムの構築を実施し、患者及び利用者の利便性向上ならびに業務効率化を図る。

(玉川クリニック)

- ① 婦人科超音波検査機を更新し、診断能力の向上を図る。
- ② 眼科画像ファイリングを更新し、診療の質の保持を図る。

(診療所)

- ① 画像管理サーバーを更新し、データ格納エリア拡張と他システム連携強化を図る。
- ② 健康管理システムを更新し、健診業務の効率化を図る。

(ホワイエ)

- ① デイケア送迎車を更新し、患者の利便性を図る。

以上

(参考)

想定患者数、健診者数等

(1) 入院患者数 (単位:人)

種 別	玉 川 病 院			
	2023年度予算		2022年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
一 般	84,389	230.6	212.2	18.4
回復期リハ	13,652	37.3	37.3	0.0
地域包括ケア	13,031	35.6	34.9	0.7
計 A	111,072	303.5	284.4	19.1
2022年度見込 B	103,803			
2022年度予算 C	111,876			
2022年度達成率 B/C	93%			
対前年度見込 A/B	107%			

(単位:人)

種 別	佐 倉 厚 生 園 病 院			
	2023年度予算		2022年度見込	一日平均 の増減
	延人員	一日平均	一日平均	
療 養	49,026	134.0	132.4	1.6
回復期リハ	16,086	44.0	42.9	1.1
計 A	65,112	177.9	175.3	2.6
2022年度見込 B	63,997			
2022年度予算 C	64,240			
2022年度達成率 B/C	100%			
対前年度見込 A/B	102%			

(2) 外来患者数 (単位:人)

科 別	玉川病院		佐倉厚生園病院		診療所		玉川クリニック	
	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均	延人員	一日平均
2023年度予算 A	191,068	652.1	19,680	67.2	11,305	46.1	24,529	83.7
2022年度見込 B	177,481	605.7	19,101	65.2	10,698	44.0	22,804	74.8
2022年度予算 C	189,397	646.4	18,004	61.4	10,758	44.3	23,728	77.5
2022年度達成率 B/C	94%		106%		99%		96%	
対前年度見込 A/B	108%		103%		106%		108%	

(3) 健診者数 (単位:人)

種 別	玉川病院	佐倉厚生園病院	診療所	玉川クリニック	合 計
	延人員	延人員	延人員	延人員	延人員
各種健診	10,325	8,823	15,699	5,640	40,487
人間ドック	650	2,557	1,278	730	5,215
2023年度予算計A	10,975	11,380	16,977	6,370	45,702
2022年度見込 B	11,498	11,014	17,145	6,058	45,715
2022年度予算 C	9,000	10,000	16,872	5,900	41,772
2022年度達成率 B/C	128%	110%	102%	103%	109%
対前年度見込 A/B	95%	103%	99%	105%	100%

(4) 佐倉ホワイトエ利用者数 (単位:人)

区 分	入所延人員	1日平均	通所延人員	1日平均
2023年度予算 A	28,585	78.1	11,088	36.0
2022年度見込 B	27,521	75.4	8,575	28.3
2022年度予算 C	28,470	78.0	11,088	36.0
2022年度達成率 B/C	97%		77%	
対前年度見込 A/B	104%		129%	

(別表) 研究・調査

I. 玉川病院

1. 研究センター

(1) 透析センター・腎臓内科

- ① 外来慢性腎臓病 (CKD) チーム医療の心血管合併症に対する影響
- ② 透析前低カリウム血症に対する透析中のカリウム補充の検討～後方視的ケースコントロール研究～
- ③ CKD 療養指導による腎機能改善効果：多施設共同研究
- ④ 玉川 CKD 対策ネットワークの病診連携に及ぼす影響
- ⑤ 臨床工学技士における腹膜透析業務への業務拡充と育成への取り組み
- ⑥ 臨床工学技士による血管エコーを用いた血液透析患者のバスキュラーアクセス管理の有用性
- ⑦ 外来維持血液透析患者に対する透析中の運動療法の臨床効果
- ⑧ 当院の腎代替療法選択支援
- ⑨ 透析センターにおける災害時透析医療の取り組み

(2) 気胸研究センター

- ① リンパ脈管筋腫症
  - 1) リンパ脈管筋腫症の組織培養法の検討
  - 2) シロリムス投与による気胸発症の予防効果
- ② BHD 症候群
  - 1) BHD 症候群における DNA 解析と疫学調査
  - 2) BHD 症候群における腎病変および関病変の MRI 画像診断の検討
  - 3) BHD 症候群における高感度遺伝子検査による診断法の確立
- ③ 胸腔子宮内膜症性気胸
  - 1) 胸腔子宮内膜症性気胸における横隔膜 MRI 診断の有用性
  - 2) 胸腔子宮内膜症性気胸における病期分類の有用性
  - 3) 胸腔子宮内膜症性気胸における胸水培養による診断法
  - 4) 胸腔子宮内膜症性気胸の発症メカニズムの解明と新しいバイオマーカーの検討
  - 5) 胸腔子宮内膜症性気胸の術後再発に対する TPC 治療の検討
  - 6) 胸腔子宮内膜症性気胸における術前局所麻酔下胸腔鏡検査の有用性
  - 7) 胸腔子宮内膜症性気胸における術後ホルモン療法の有用性
  - 8) 胸腔子宮内膜症性気胸における横隔膜切除術後の呼吸機能への影響
  - 9) 胸腔子宮内膜症性気胸における横隔膜病変のマッピング
  - 10) 胸腔子宮内膜症性気胸と骨盤子宮内膜症の関連性
- ④ その他
  - 1) 成人自然気胸の術後再発予防に対する dual covering 法の効果
  - 2) 若年者肺気腫の画像診断と病理組織の検討
  - 3) 青年期原発性自然気胸の術後再発様式の検討
  - 4) 若年性肺気腫の病態解明
  - 5) 特発性血気胸の実態調査
  - 6) 難治性遅延性気漏の治療法として TGF 治療の有用性
  - 7) 女性自然気胸の原因診断における胸部 CT の有用性
  - 8) 間質性肺炎における難治性気漏に対する胸腔鏡下気管支塞栓術の検討
  - 9) マルフアン症候群における気胸の臨床的特徴
  - 10) 原発性自然気胸における初回発症時の虚脱度に応じた治療方針の検討
  - 11) 原発性自然気胸に対する単孔式胸腔鏡手術の有用性

- 12) 自然気胸における肺嚢胞の新分類
- 13) 自然気胸術後に気漏が遷延した症例の予後調査
- 14) 自然気胸入院後の予後調査
- 15) 自然気胸と側弯症の関連性の調査
- 16) 異時性両側気胸の治療方針に関する検討
- 17) エーラスダンロス症候群の気胸に対する治療の検討

### (3) ヘルニアセンター

- ① 日本ヘルニア学会鼠径ヘルニア分類・ガイドライン改訂への対応  
担当委員会・・・術前診断
- ② 鼠径部ヘルニアの術前診断  
画像診断の意義と臨床実績との対比・研究
- ③ 腹腔鏡下ヘルニア修復術（LPEC 法）の成人への応用に関する研究
- ④ 女性 Nuck 管水腫と子宮内膜症の関連に関する臨床的研究および治療法に関する研究
- ⑤ 食道裂孔ヘルニアの鏡視下手術法の展開と中・長期成績について
- ⑥ De Novo 型、Sliding 型ヘルニアの病態と治療戦略の研究
- ⑦ 前立腺癌、膀胱癌術後症例に対する安全・確実な治療戦略の研究
- ⑧ 鏡視下手術再発危険群の解析とその対策の研究
- ⑨ 腹壁癒痕ヘルニアの腹腔鏡下治療の展開
- ⑩ 嵌頓ヘルニアの鏡視下手術による治療法の確立
- ⑪ 大腿ヘルニア（嵌頓例・非嵌頓例）に対する腹腔鏡下個別的治療法（Laparoscopic Simple Femoral Herniorraphy: LSFH 法）の研究
- ⑫ 精索脂肪腫、腹膜前脂肪腫と鼠径ヘルニアに関する研究

### (4) 股関節センター

- ① 変形性股関節症に対する新しい人工関節治療（術前計画）法の研究
- ② Corail 型 ステムの臨床比較
- ③ SSI における  $\alpha$ -defensin 判定効果の検討
- ④ 日本人の正常骨盤・股関節の形態計測
- ⑤ 人工股関節再置換術手術手技における適応と術式決定法の確立
- ⑥ 変形性股関節症の発症メカニズムの解明への研究
- ⑦ 大腿骨近位形態の異常と臨床的ステム前捻の相違における検討
- ⑧ ステム形状の相違に伴う術後初期荷重の相違についての検討
- ⑨ MAKO robotic surgery THA の手術精度における検討
- ⑩ THA における forgotten joint をもたらす因子の検討
- ⑪ インプラント周囲骨折に対する治療法の検討と確立
- ⑫ 晩期 Periprosthetic joint infection (PJI) に対する治療法の検討
- ⑬ 近位固定型 stem (Metha) の臨床成績に影響する因子の検討
- ⑭ 各種 Full coat stem の成績比較
- ⑮ 当院整形外科における周術期 SSI (手術部位感染) 予防対策の再検討
- ⑯ CT 画像を用いた人工股関節インプラントの初期微小移動に関する研究
- ⑰ 人工股関節置換術に関する新しい術式の導入と有効性の検討

### (5) リハビリテーションセンター

- ① 上肢リハビリ装置 Cocoroe AR2 ロボットを用いた脳卒中での上肢リハビリへの応用とその改善に関する検討
- ② MELTIN MMI 社手指用ロボットニューロリハビリテーション装置を用いた多施設でのリハビリ効果の機能評価への参加

- ③ 経頭蓋直流刺激、経頭蓋反復時期刺激を用いた脳卒中後の高次脳機能障害、運動麻痺の改善に関する検討
- ④ 痙縮に対するボトックス治療での効果の検討

## 2. 各診療科

### (1) 循環器内科

- ① ハートノートを利用した多職種チームによる心不全患者管理による予後改善についての検討
- ② レーザー血流計ポケット LDF による下肢動脈形成術前後の治療評価
- ③ 脂肪肝患者と心疾患の関連についての検討
- ④ アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬投与による BNP 変動変動について
- ⑤ 心不全外来指導による再入院予防についての検討

### (2) 呼吸器内科

- ① 呼吸器疾患患者の夜間酸素飽和度低下に関する研究
- ② 呼吸器疾患患者の四肢筋肉量の経年的変化に関する研究
- ③ 慢性咳嗽患者における呼気一酸化窒素測定の有用性に関する研究
- ④ 呼吸器疾患患者の診療の質に関する研究
- ⑤ 呼吸器疾患患者の入院バリエーションの研究
- ⑥ 呼吸器疾患患者のポリファーマの実態に関する研究
- ⑦ 呼吸器疾患患者の効率的な継続指示（入院）に関する研究
- ⑧ 呼吸器疾患患者の ACP の現状に関する研究
- ⑨ 超音波気管支鏡検査（EBUS+TBNA, EBUS+GS）の臨床成績に関する研究
- ⑩ 新型コロナウイルス肺炎後遺症による呼吸障害に関する研究

### (3) 消化器内科

- ① ピロリ陰性胃癌の臨床的特徴
- ② 胆膵疾患における内視鏡的超音波検査（EUS）の有効性
- ③ 炎症性腸疾患患者に対する新規薬剤の有効性の検討
- ④ 胃瘻造設患者の転帰について
- ⑤ 慢性便秘症の診療の現状

### (4) 糖尿病代謝内科

- ① 新規糖尿病薬イメグリミンの効果と使用前体重の関連についての検討
- ② 独来高齢者の実地調査

### (5) 脳神経内科

- ① MAG 抗体陽性ニューロパチー2 例の検討
- ② 驚手を呈した finger drop sign variant ギランバレー症候群の検討
- ③ 新型コロナウイルス感染症の入院転帰不良（死亡）例の検討

### (6) 消化器・一般外科

#### [消化器・一般外科]

- ① 高齢者の至適外科治療戦略；リンパ節郭清範囲、再建方法
- ② 高齢者に適した包括的 ERAS（Enhanced Recovery After Surgery；術後回復の強化）プログラム
- ③ 併存疾患を有する、あるいは75歳以上の高齢者に対する至適化学療法
- ④ 高齢者直腸脱に対する至適術式；modified Delorme 手術の開発と評価

- ⑤ 下肢静脈瘤に対する低侵襲手術治療
- ⑥ 外科研修における早期からの中～高度難易度手術を執刀する利点と問題点
- ⑦ 上部消化管手術患者における栄養管理(微量元素の補充)
- ⑧ 多職種チームで行う”日本版 ERAS/ESSENCE プロジェクト”の評価
- ⑨ ICG 蛍光法による術中腸管血流測定の意義
- ⑩ 腹壁閉鎖手技の研究；抗菌縫合糸による連続縫合と局所陰圧療法（NPWT）の SSI 予防効果
- ⑪ Upside down stomach を伴う高度食道裂孔ヘルニアに対する至適腹腔鏡補助下外科治療

[乳腺外科]

- ① ICG 蛍光法によるセンチネルリンパ節生検手技の工夫とその検証
- ② Stathmin1, Survivin 遺伝子の乳癌における予後、治療効果予測因子としての意義；国際医療福祉大学病理部と共同研究。
- ③ 乳腺 Neuroendocrine carcinoma の特徴

(7) 脳神経外科

- ① 脳卒中チーム体制の確立
- ② 夜間救急外来における画像共有アプリ「Join」の有用性
- ③ 救急外来における脳神経外科医の外傷患者の対応
- ④ 急性期脳卒中患者の栄養管理とその予後の検討

(8) 整形外科

- ① 膝関節外科における新しい治療法の研究
- ② 大腿骨近位部骨折成績不良例の検討
- ③ 大腿骨頸部骨折に対する治療；各種人工骨頭置換術の成績比較
- ④ MAKO robotic surgery TKA における問題点と解決法の検討
- ⑤ 骨粗鬆症リハビリサービスの院内・院外・地域での確立
- ⑥ FLS(骨折二次予防)のための早期治療介入を妨げる因子の検討

(9) 皮膚科

- ① 皮膚疾患における光線療法（ナローバンド UVB, エキシマライト）の有効な治療方法の確立と効果の検討
- ② アトピー性皮膚炎における生物製剤、JAK 阻害剤などの新しい治療薬の適切な使用の検討
- ③ 尋常性乾癬における生物製剤、免疫調整剤の適切な使用の検討
- ④ 薬疹における原因薬剤の同定と患者への服薬指導
- ⑤ 食物アレルギー、アナフィラキシーにおける原因物質の同定と生活指導、エピペン携帯指導。最近問題となっているアクリル樹脂によるアレルギー性接触皮膚炎の解明（血糖自動測定器やジェルネイルなどにも使用）と生活指導
- ⑥ BHD 症候群における皮膚症状の病理学的および疫学的研究、診断基準の確立（気胸センターとの共同研究）
- ⑦ 結節性硬化症の皮膚病変に対するラパリムスゲルの有効性の検討（気胸センターとの共同研究）
- ⑧ 褥瘡における創傷被覆剤、持続陰圧吸引療法、外用剤の適切な使用の検討（褥瘡委員会との共同）及び特定行為研修ナースへの指導法の確立
- ⑨ ウイルス性発疹症、劇症型溶連菌感染症、Panton-Valentine 陽性の MRSA、疥癬の適切な診断と感染防御対策の確立（感染委員会との共同）
- ⑩ がん治療に使用する分子標的薬の皮膚障害に対する予防的治療の検討（外科、薬剤科との共同）
- ⑪ 人工関節置換術前の金属パッチテスト施行による金属アレルギーの予防（整形外科との共同）



(10)泌尿器科

- ① 新規導入予定の Green Light XPS と導入後 8 年を経過した HPS の成績との比較検討
- ② 光選択的前立腺蒸散術の臨床成績の集積および 2017 年から新規導入した術式 (Vaporization and resection 法) の検討
- ③ 光選択的前立腺蒸散術における射精温存術式の検討
- ④ 去勢抵抗性前立腺癌に対する新規治療薬を組み入れた治療戦略
- ⑤ PSA 高値症例に対する不必要な前立腺生検を回避するための MRI 検査の評価
- ⑥ 腎細胞癌の集学的治療 (手術、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬) の検討
- ⑦ 進行膀胱がんに対する放射線化学療法を併用した膀胱温存療法の検討
- ⑧ 小切開創手術 (根治的腎摘除術、根治的腎尿管全摘除術、根治的前立腺全摘除術) の展開

(11)産婦人科

プロウペスによる分娩誘発の検討(他の誘発方法との比較など)。

(12)眼科

- ① 水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術におけるステント挿入困難症例の検討
- ② 非球面高次レンズ (レンズ) と非球面レンズとの近方視力比較
- ③ Vogt-小柳-原田病患者の長期予後について
- ④ 病的近視眼における点状脈絡膜内層症の発症機序解明

(13)放射線科

酸素化良好な COVID-19 感染者における胸部 CT の必要性について

(14)麻酔科

- ① 術中使用した制吐剤の違いによる術後制吐効果への影響の検討
- ② 術直前に PCI を施行された患者さんに対する全身麻酔管理の安全性の検討
- ③ 高齢の手術患者における局所麻酔薬による神経ブロックの有効性の検討
- ④ 高齢の大腿骨頸部骨折患者の予後に影響する麻酔管理方法の検討
- ⑤ 高齢者大腿骨頸部骨折患者の手術待機期間と予後の関係の検討
- ⑥ 術前呼吸機能検査結果と周術期呼吸器合併症の検討
- ⑦ 胸部外科手術と整形外科手術における側臥位手術体位と腕神経叢合併症の検討
- ⑧ 同一手術室で手術患者退出から次の手術患者入室までの最低必要時間の検討
- ⑨ 人工股関節全置換術術中のカクテル注射と全身麻酔からの覚醒時間との関係について
- ⑩ 新規上市された麻酔薬「レミマゾラム」による安全な麻酔管理方法の検討
- ⑪ 新規上市された麻酔薬「レミマゾラム」による超高齢者麻酔管理に及ぼす影響
- ⑫ 仙骨硬膜外造影剤を注入した際の造影剤の到達レベルと患者要因の関係について
- ⑬ 高周波治療による神経根ブロック時、その施行時間と治療効果の関係について
- ⑭ うつ状態と疼痛改善の早さに関係性はあるか。K6 を用いた検討
- ⑮ 救急救命士気管挿管実習時の指導法と挿管成功率の検討
- ⑯ 非常勤麻酔科医確保とその有効活用に関する検討
- ⑰ 医師不足地域への麻酔科医派遣協力システムの検討
- ⑱ 複数施設での麻酔科医相互補完に関する検討
- ⑲ オンダンセトロン術中使用による術後嘔気・嘔吐予防効果の検討

(15)病理診断科

各種臓器に対する特殊染色、免疫染色・遺伝子解析等に関する標本の最適化への取り組み。

(16) 歯科

人工股関節術後の術後合併症に関連する周術期口腔管理の効果について

3. 医療技術部

(1) 薬剤科

- ① 薬剤投与による有効性・安全性・QOLに関する研究
- ② 病院における薬剤師介入効果に関する研究
- ③ 医薬品安全管理に関する研究
- ④ 医薬品情報提供に関する研究
- ⑤ 院内製剤の安定性に関する研究

(2) 臨床工学科

- ① 透析液カリウム濃度の違いが透析後低カリウム血症に与える影響
- ② tkb Pnew-Moist 呼吸回路ドライサームの水蒸気拡散性能評価
- ③ 末梢血管治療中のレーザー血流計を使用した微小循環血流量連続モニタリングの有用性が示唆された症例
- ④ 当院における腹膜透析業務における現状と課題
- ⑤ 院内勉強会の e-ラーニング活用による受講者の変化
- ⑥ 当院におけるペースメーカ遠隔モニタリング業務の現状と今後の課題
- ⑦ 人工呼吸器「VOCSN」の使用経験
- ⑧ 当院臨床工学技士におけるスコープオペレーター業務の現状と今後の課題

(3) 臨床検査科

[生化学・免疫検査]

- ① cont 使用量・試薬の lot キープ量を見直しランニングコスト削減への取り組み。
- ② 体位変化による測定値の変動について周知。
- ③ 検査室の環境整備による効率的運用。

[輸血検査]

- ① コンピュータークロスマッチ導入に向けて保険請求、システムの運用を構築する。
- ② 再生医療についての管理体制の構築。
- ③ 安全な輸血についての管理体制構築。
- ④ 製剤廃棄率改善への取り組み。

[細菌検査]

- ① 感染症（耐性菌）に関する医療スタッフへの教育、適切な検体採取および検体搬送の周知。
- ② 院内で検出された耐性菌の検出率傾向の分析と薬剤科との連携による薬剤適正使用への取り組み。

[病理検査]

- ① 免疫染色と遺伝子検査の検体の取り扱いの最適化への取り組み。

[採血室]

- ① 検体の取り違えの防止策の検討。

[一般検査]

- ① 尿沈渣検査結果の検査者間差を少なくする取り組み。
- ② 尿沈渣検査の報告時間の短縮の取り組み。

[血液検査]

- ① 血液像の分類を迅速正確に行い検査データとの関連についての取り組み。

[生理検査]

- ① 心電図、超音波検査のパニック値報告症例の検証。

② 患者待ち時間短縮への取り組み。

(4) リハビリテーション科

- ① THA 前の大腿四頭筋の筋断面積と筋輝度、THA 前後の腫脹の変化率は術後の筋のこわばり・疼痛に影響を及ぼすのか～超音波画像診断装置の拡張視野（EFOV）像を用いて～
- ② 中枢性感作が人工股関節全置換術後の主観的 QOL に与える影響
- ③ 呼吸器疾患患者の移動能力と握力の関係について
- ④ 蘇生後の低酸素脳症による高次脳機能障害について
- ⑤ 脳梁断症候群疑いと指摘された症例に対する作業療法評価について

(5) 放射線科

- ① 各モダリティの専門性向上
- ② 線量管理システムを活用した撮影条件の見直し
- ③ マンモグラフィ施設画像評価認定の取得
- ④ 読影補助を行うためのカリキュラムマネジメント

(6) 栄養給食科

- ① 栄養補助食品の適正使用化とそれによる費用削減効果の検討
- ② 早期栄養介入管理の効果の検討

4. 看護部

(1) 多職種協働による業務効率化と質の担保について

- ① 外来クラーク
- ② 救急救命士
- ③ 介護福祉士

(2) 院内から地域へリソース看護師の活躍を考える

- ① 特定行為看護師
- ② 専門・認定看護師

(3) 災害訓練 看護部の取り組み

(4) 看護教育

- ① マネージメント 師長のペア制度導入の効果
- ② 倫理教育 身体拘束解除に向けた取り組み

## II. 佐倉厚生園病院

1. 代謝内分泌科

- ① 動脈硬化症と糖および血清リポたんぱく質代謝の研究
- ② 療養病棟における血糖管理

2. 脳神経外科

- ① パーキンソン病における大脳基底核近傍の局所電場電位（LFP）の機能関連と脳深部刺激療法（DBS）への応用に関する研究

3. NST 委員会

- ① 慢性期療養型病棟に入院中の後期高齢者・超高齢者に対する NST 介入に伴う症例研究

4. 薬剤科

- ① 高齢者の在宅支援における退院後の服薬状況実態研究
- ② ポリファーマシーに対する症例研究

5. リハビリテーション室

- ① 回復期リハ退院後患者の追跡調査及び症例研究

- ② 回復期病棟における入院時栄養状態から見た転帰先の関係性
- ③ パーキンソン病における集学的治療
- ④ 多職種チームによる包括的排尿ケア
- ⑤ 脳卒中後の痙縮に対するバクロフェン持続髄注療法と集中リハビリテーションの併用療法の有用性の検討
- 6. レントゲン室 健診部
  - ① 健康診断における COVID19 対策としての 2 部制の導入および案内誘導の変更による所要時間の短縮
- 7. 退院支援室
  - ① 慢性期医療の退院支援効果と症例研究
- 8. 看護部教育委員会
  - ① 看護研究

### Ⅲ. 佐倉ホワイエ

- ① 老健施設の活動による心の活性化

### Ⅳ. 玉川クリニック

#### 一般診療

- 1. 診療の質向上にむけた臨床指標の抽出に関する研究
- 2. 薬剤処方の改善にむけて研究
  - ① ポリファーマシー
  - ② 処方日数
  - ③ 眠剤処方
  - ④ 下剤処方
  - ⑤ 酸化マグネシウム処方
  - ⑥ ビタミン D 処方
- 3. 推定食塩摂取量、塩分チェックシートに関する研究

#### 健診業務

- 1. 健診判定の質の向上にむけた判定アルゴリズムの改良に関する研究
- 2. EDTA 依存性血小板減少症に関する研究
- 3. 貧血症頻度 (SDGs ゴール 2 ; 飢餓栄養指標) に関する研究
- 4. 体組成の測定に関する研究

#### 産業医活動

- 1. 労働者の健康管理とその指標に関する研究

### Ⅴ. 診療所

- ① 玉川病院外科と協力し、超悪玉コレステロール Small Dense LDL Cholesterol (sd LDL-C) と動脈硬化リスク因子との関連性についてデータの収集と分析を行い、学会発表を行う。
- ② 日本人間ドック学会学術大会において、症例報告を行う。
- ③ 膵管内乳頭粘液性新生物 (IPMN) 患者のスクリーニング追跡調査への準備を行う。